

ゆめお一れ入館者数120万人突破

■6月1日 ゆめお一れ勝山



「ゆめお一れ勝山」の累計入館者数が120万人を突破した記念のセレモニーが行われ、施設正面でくす玉を割って祝いました。

特定外来生物「オオキンケイギク」駆除

■6月11日 弁天河原



成器南小学校5年生が、地域の生態系を守るため、河川敷に繁殖している特定外来生物「オオキンケイギク」の駆除活動を行いました。

里山の保全をめざして 炭焼き体験学習

■6月22日 荒土町細野口



荒土小学校4年生が、荒土町ふるさとづくり推進協議会が行っている炭焼き事業を体験し、炭焼きに使う原木の窯入れや薪割り、植樹に挑戦しました。

HOT話題

平泉寺の魅力発信をめざして

■6月2日 平泉寺町内



平泉寺小学校4～6年生が地元で点在するジオサイトの魅力をもっと多くの方に発信していくため、「弁ヶ滝」や「御堂之滝」などを巡り、歴史や地形について学習しました。

縄文人になりきって「原始運動会」

■6月18日 三室小学校



三室小学校で「原始運動会」が開催されました。縄文時代の生活にちなんだ競技に、児童たちは元気いっぱいはだしでグラウンドを駆けまわっていました。

おめでとうございます



成器西小学校が日頃から実践している読書を推進するための活動が認められ、全国の優秀実践校として文部科学大臣表彰を受けました。

Smile Pick Up! 市民の笑顔お届けします

縫製や飲食、鉄鋼などの異なる分野の職人が集まった「THE EACH BASE」を2019年に結成した織田さん。市内でシルクスクリンやレザークラフトなど、様々なワークショップ活動をされています。



織田 研吾さん (42歳) =郡町1 =

「純粹にもものづくりを楽しみたい」という思いで、仕事とは違ったものづくり活動を始めた織田さんは、メンバーそれぞれの個性を尊重しながら、ものづくりを学ぶ楽しさや遊ぶ楽しさを実感されています。そして、そのものづくりの楽しさを多くの方に「目くたやい」。



活動内容をInstagramで発信中

また、自分たちと同じように、ものづくりに挑戦したいという方をサポートしたいと、「BLEEP HOUSE」私たちの基地(栄町5)というものづくりに挑戦できる活動拠点も整備されています。今後は、「子どもたちに、勝山で働きたい。勝山でものづくりに挑戦したい」とう刺激を与えられるような活動をしていきたいです」と話されています。ものづくりに興味がある方は、「注」

「ものづくり」の楽しさを勝山で伝える

ガンガンいこうぜ! / 勝山ちおこ

「火」の起こる場作りを「どうやったら勝山が面白くなるか」常にそんなことを考えながら、2019年より活動を始め、日本画恐竜展という恐竜の絵画展を企画したり、青山学院大学との町おこし企画を検討したり、テントサウナという屋外で展開するサウナを用いたイベントを展開したりしてきました。少しづつですがそれぞれの活動の周知を生むこともできたが、まだまだ道半ばです。「何が足りないか」と考えた時に浮かんだのが、「こんなことをしたい!始めたい!」というやる気の種火が生まれたい!もしくは「そんなやる気を応援できる場所がない」ということでした。勝山には繊維の歴史、豊かな自然、恐竜や大仏など稀



地域おこし協力隊 太田 啓斗さん (28)



テントサウナイベントの様子

有な資源が、ちゃんと残っています。そして、それと同時に空き家や営業をやめた土地や物件など、活用しきれない遊休資産も増えています。あとはかつやまが、それをうまく活用し、みんなで手を取り合って、挑戦し、刺激し合い、新しい何かを生み出していく。そんな関係性を作れば、もっと面白い、ワクワクしたまちになるんじゃないかと考えています。新たな「火」が起り続ける、そんな素敵なまちにしたいので、活用できる場所や資源がある方、ぜひご協力させていただきたいので、ご相談ください!よろしくお願います!(TEL 0901727817971)